

令和5年度 西御料地小学校

学校評価



令和6年2月29日

令和5年度 保護者アンケート

		R4	R5
①	お子さんは、自分から進んで挨拶をしたり、礼儀正しい行動をしたりすることができる。	3.1	3.1
②	お子さんは、きまりや約束を守ろうという気持ちや人を思いやる気持ちが育っている。	3.4	3.4
③	お子さんは、いじめは絶対にいけないことであると考えている。	3.7	3.7
④	お子さんは、家庭学習に進んで取り組んでいる。	3.0	2.9
⑤	お子さんは、本に興味をもち、読書に親しんでいる。	2.8	2.7
⑥	お子さんは、学校に行くことが楽しいと感じている。	3.3	3.1
⑦	お子さんは、体育の時間や遊びを通して運動に親しんでいる。	3.4	3.3
⑧	お子さんは、自分の目標や将来の夢などをもっている。	2.9	2.8
⑨	お子さんは「早寝早起き朝ごはん」など、規則正しい生活習慣を身に付けている。	3.1	3.1

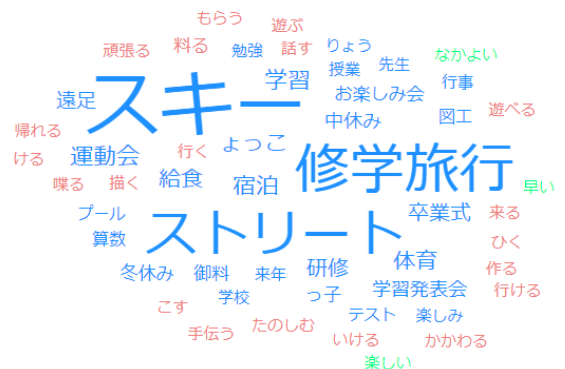
令和5年度 児童アンケート

		1・2年		3～6年	
		R4	R5	R4	R5
①	私は、進んであいさつすることができる。	3.5	3.4	3.5	3.3
②	私は、時と場に応じた言葉使いができようになってきた。	3.6	3.5	3.4	3.3
③	私は、場面によってどうするべきか、どんな言葉かけをしたらいいのか、考えることができる。	3.5	3.4	3.3	3.2
④	私は、給食や掃除、委員会活動（高学年のみ）をがんばっている。	3.9	3.9	3.7	3.6
⑤	私は、いじめは絶対にやってはいけないことだとわかっている。	3.9	3.9	3.9	3.9
⑥	勉強する人数を分けたり、いろいろな先生が一人一人にいていねいに教えてくれたりしている。			3.6	3.7
⑦	学校は、勉強を分かりやすく教えてくれている。	3.8	3.8	3.6	3.7
⑧	私は、宿題をするなど家庭でも学習する習慣がついてきた。	3.7	3.7	3.3	3.3
⑨	私は、学校の図書館を利用している。	3.6	3.4	2.8	2.6
⑩	私は、タブレットを使って楽しく勉強している。	3.9	3.5	3.5	3.5
⑪	私は、体育の勉強でいろいろな運動に取り組んできた。	3.9	3.8	3.5	3.6
⑫	私は、キャリアパスポートを活用して、活動の目標を立てたり、活動を振り返ったりしている。	3.7	3.7	3.5	3.5
⑬	よく食べ、よく遊び、よく寝るなど健康的な生活を送っている。	3.6	3.6	3.4	3.4

児童の希望

テキストマイニングの結果より

「御料っ子ストリート」や「修学旅行」「スキー」を楽しみにしている様子が分かります。



令和5年度 学校評価（教職員）

		R4	R5
①	子どもは、自分から進んで挨拶ができるようになってきた。	2.9	2.6
②	子どもは、時と場に応じた言葉使いができるようになってきた。	3.0	2.7
③	子どもは、道徳の学習を通してよりよく生きるための基盤となる道徳性を身に付けてきた。	3.0	2.9
④	子どもは、給食や掃除，委員会活動（高学年）をがんばってきた。	3.7	3.4
⑤	学校（自分）は、いじめは絶対にいけないことであると指導してきた。	4.0	3.9
⑥	学校は、個々の特性に応じて少人数指導を取り入れるなど指導の工夫をしている。	3.5	3.5
⑦	学校は、子どもに関わる保護者からの相談に応じる機会を設定している。	3.8	3.6
⑧	本校（自分）は、分かりやすい授業の展開に努めてきた。	3.6	3.4
⑨	学校（自分）は、「考えの記述→評価→次時へ」の流れで授業を展開してきた。（取り入れることのできた教科で回答）	3.1	3.1
⑩	学校は、学習習慣の定着に向け家庭での学習を推奨し支援している。	3.5	3.4
⑪	学校は、新しく入った本を紹介するなどして子どもたちが本に親しめるように努めている。	3.7	3.4
⑫	学校は、授業交流をするなど研鑽に励んでいる。（タブレット端末を利用した授業を1人1回行っている。）	3.7	3.6
⑬	学校（自分）は、ICT機器を効果的に活用した授業を行っている。	3.4	3.4
⑭	学校（自分）は、体育の目標が達成できるように授業を進めている。	3.1	3.3
⑮	学校は、体力テストなどの客観的な結果をもとに運動に取り組んでいる。	2.8	2.7
⑯	学校は、キャリアパスポートを活用して、活動の目標を立てたり、振り返りをしたりしている。	3.5	3.6
⑰	学校は、家庭と連携を図り、基本的な生活習慣の確立に努めてきた。（通信での啓発など）	3.6	3.4

学校評価結果を受けて

学校評価の結果と考察

学校評価につきましては、保護者、児童、職員を対象として、学校運営の中心としてきた項目について、4：そう思う 3：やや思う 2：あまり思わない 1：思わない の4段階での回答結果を掲載しております。

保護者アンケートでは、児童の「道徳性」に関する項目では、とても高い数値となっていました。が、「家庭学習」「読書」に関する項目では、低くなっています。児童の学習習慣の定着や校内の図書館利用の程度について、保護者に対してより一層発信していく必要があると考えます。

児童アンケートでは、ほとんどの項目が、昨年度と±0.2程度になっており、大きく変化が見られない結果となりました。低学年の「タブレットを使って楽しく学習する」と高学年の「図書館利用」の数値が低いのが気になるところです。

教職員の評価では、R4年度よりも数値が下がっている項目が多くありましたが、依然と高い数値になっています。新型コロナウイルス感染症も5類に移行し、コロナ禍以前の教育活動を通常に行うことができるようになってきたこともこの結果につながったと考えています。その中で気になる項目は「挨拶」と「言葉使い」、「委員会活動」、「体力テストの活用」です。「挨拶」と「言葉使い」は、それぞれ0.3Pずつ下がっています。係や委員会は、数値的には高いですが、こちら0.3P低くなっています。体力テストは、昨年に続き課題となっています。

～保護者自由記述欄より～

- ・登下校の仕方（冬期間、交通安全指導、不審者への対応・指導、朝の見守り隊の継続）
- ・保護者への説明の仕方（学校全体の感染状況、問題があった際の情報提供の仕方）
- ・低学年からの指導の積み重ね（高学年に向けて）
- ・施設整備面（エアコンの設置、トイレ、教室の狭さ、御料の森の整備）
- ・指導・支援の一層の充実（一人一人に目を向けた教員の関わり、ルールを守る・他人を思いやる言動）

自由記述欄では、今後の学校について様々なご意見をいただきました。一つ一つのご意見を踏まえ、今後の教育活動や、学校体制の構築、施設面の改善に生かしてまいります。

なお、指導面など早急に改善を図ることができることについては今年度中に改善を図り、次年度へつなげていきます。